

「料金値上げは申し訳ないご理解を」と答弁

いせり栄次の一般質問 2

市民生活が窮迫する中、市電運賃の値上げはとんでもない

開業100周年を迎えた熊本市電はお祝いしなければならないときに、来年6月から現行180円を200円へ値上げすると表明しました。「去年値上げしたばかりなのに連続値上げは納得いかない」というのが多くの市民の声です。

井芹議員は物価高騰で市民生活がひっ迫しているなかでの料金値上げは中止すべきと質しました。市長は「処遇改善や安全構築のためご理解いただきたい」と、市民生活の厳しさに背を向ける答弁に終始しました。

値上げせず経営努力こそ必要 市民負担への転嫁許せん

値上げの理由として、乗車人員がコロナ禍前まで回復していないことや非正規職員の処遇改善や物価高騰などによる収支悪化という説明でしたが、いずれの理由も本来交通事業者の経営努力で改善されるべきもので、市民負担に転嫁すべきではありません。市民からも経営悪化を理由に安易な値上げに厳し

い声が寄せられています。値上げ総額は1億6300万円です。一方で一般会計くり入れ1億4800万円の減額も予定されています。市電は、地域公共交通の基幹交通手段として、道路渋滞解消、環境や福祉に役立つなど市電の果たす役割は非常に大きく、一般会計くり入れを減額しないで値上げをやめるよう求めました。

一般会計くり入れを減額せず市民負担増の回避を

相次ぐ重大事故の発生で市長は突然の上下分離方式移行の延期を表明。市電は大事な市民の足です。移動の自由の保障は、地域での生活の質に直結しています。

政府は11月に新たな経済対策を閣議決定。重点支援地方交付金を活用して低所得者支援枠を使って値上げを中止するように要望しま

した。また、事故が相次ぎ市電への信頼がゆらいでいます。安全確保には運転士の処遇改善が欠かせません。そのためにも必要なのは公共交通への支援拡充です。



【控室から】公共交通への支援拡充を

上野 みえこ

今、バスに乗ると、降車口では両替の列が並び、乗っている間中「両替機のお金が不足しています。小銭をご用意ください」のアナウンスが途切れません。先日、うっかり小銭の準備を忘れ、両替しようとしたら新千円札しかなく立ち往生しました。11月中旬から全国共通ICカードが使用できなくなり、「不便になった」の声が相次いでいます。インバウンドと言いつつ、県外からの来熊者も不便で、市民の利用促進にも逆行し、利便性を損ねています。

共産党市議団は、バス事業への支援拡充で全国共通カードの利用継続を求めました。公共交通特別委員会では、参考人の溝上章志熊本学園大学教授も「熊本市の地域交通への予算は道路予算の3%、5%にすればバス事業5社の赤字が解消できる」と、公共交通予算の少なさを指摘されました。高齢化や環境重視の時代を迎え、公共交通の利用促進へ、支援の拡充が求められます。

日本共産党

熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1
発行：日本共産党熊本市議団

NO. 1394

2024年12月22日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP: 共産党 熊本市議団



検索



上野 みえこ
(中央区)



いせり 栄次
(東区)

市長は「核兵器禁止条約への批准を強く要請」と答弁 「日本被団協ノーベル平和賞受賞」今こそ核兵器廃絶へ

政府は核兵器禁止条約への参加を

日本被団協がノーベル平和賞受賞といううれしいニュースが届きました。核兵器のない世界をめざす草の根からの運動と被爆者の証言によって、核兵器使用を抑えてきた努力が評価されたものです。核戦争の脅威が現実のものになっており核兵器廃絶は待ったなしの全人類的な課題です。

戦争準備の「特定利用空港・港湾」指定は撤回を

健軍駐屯地が来年度 355 億円の予算で司令部の地下化がすすめられ、郷土熊本が戦場になる危険が出ています。熊本空港には初めて F15 戦闘機による訓練も行われました。

熊本空港と港は「特定利用空港・港湾」に指定され、有事の際には、標的になる可能性があ

ノーベル賞受賞を契機に廃絶への機運が高まる中、日本政府が核兵器禁止条約に参加するよう国へ求めるべきと質しました。市長は、「受賞が核兵器廃絶に向けた具体的な行動に期待」と答弁しました。本市でも平和、核廃絶の取り組みへの予算拡充を要請しました。

り、このような危険な指定は撤回すべきではないかと質しました。これに対して、市長は、「武力攻撃事態のような有事の対象ではない」と無責任な答弁。市民に何ら説明もせず、どんどん軍備強化が進められています。あらためて指定の撤回を求めました。

危険なオスプレイは飛行禁止を

屋久島沖の米軍のオスプレイ墜落事故からちょうど1年。「日米統合演習」ではオスプレイ機の熊本市上空への飛来がたびたび確認されています。「欠陥機」と言われている危険なオスプレイが熊本市の上空を飛来しないよ

うに国に求めるべきだと質問。これに対して「国が定めること」と市民の命を守る姿勢に欠ける答弁。これでは市民の不安は増すばかりです。



法令違反の自衛隊への名簿提供は中止を

18歳、22歳を対象に自衛隊への名簿提供が問題になっています。奈良では高校生が憲法違反と国を提訴しています。

この名簿提供は個人情報保護法違反であり、中止を求めました。市長は「法令違反ではない」との答弁でしたが、閣議決定による解釈に過ぎず、現に協力を拒否している自治体も

多数あります。政令市でも、広島、埼玉、千葉はしていません。また、「情報提供はしたくない」という方は、除外申請が出来ますが、ホームページ、市政だよりに加えて学校や公共施設へのポスター掲示で市民には広く知らせよう求めました。「さらなる周知広報を検討する」と答弁しました。